



第2学年 「連立方程式」 近藤 佳奈 教諭

連立三元一次方程式を解くには、文字を1つ消去すれば今まで学習してきた連立二元一次方程式になり解けるんだ！新たな問題も既に知っている方法を使うと解決できそうだ！生徒自らにそのような気づきを促すことを目指し、伊野中学校数学科がチームとして取り組んだ提案でした。

「ゴールに向けた思考プロセスや課題がどうであったか」という視点で協議しました。「生徒が何を考えればよいのかをより明確にできるためには」等、他校からの参加者も活発に意見を出し合い、有意義なグループ協議になりました。



新学習指導要領が目指す数学科の目標から授業を描く！

図の構造やしくみを見抜き、構造を方程式で表現すること(=数学的に解釈すること)を大切にしていくことや答えを求めることが大切だという発想から転換してなぜその答えになるかを説明することを大切にしていくなような授業づくりをしていく必要がある等のご指導をいただきました。

齊藤一弥
学力向上総括
専門官による
指導板書



授業者の声

本時のねらいを焦点化し、生徒に何を学ばせたいのか、そのためにどのような発問をすればよいのかをしっかりと考えていきたいと思えます。

参会者の声

すべて数字を入れてしまうことに驚きましたが、生徒が図の構造を見抜くことで、ゴールが明確になることを学習できました。

【吾北中 荒木菜奈講師】

伊野中学校では今、数学科の目標から授業を描くという視点で見直しています。次回は **7月10日(火)** **13時55分授業開始**です！ぜひご参加ください！



主体的・対話的で深い学びを実現する **算数・数学**の授業づくりを目指して!!